

経営比較分析表（令和4年度決算）

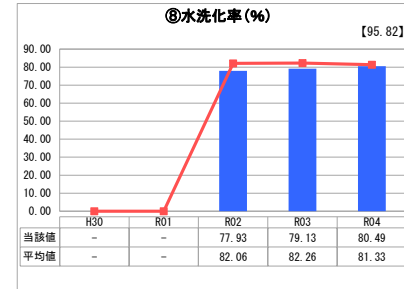
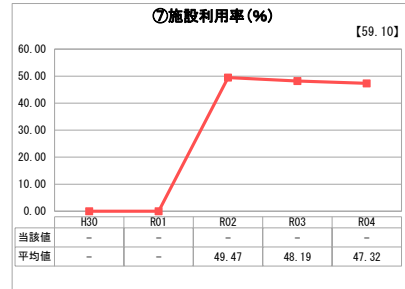
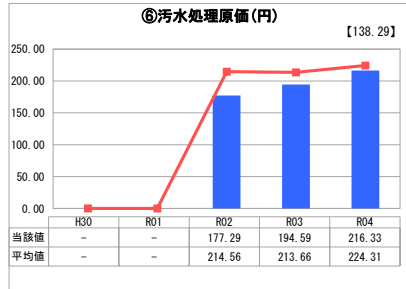
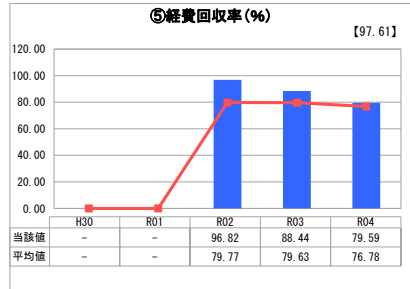
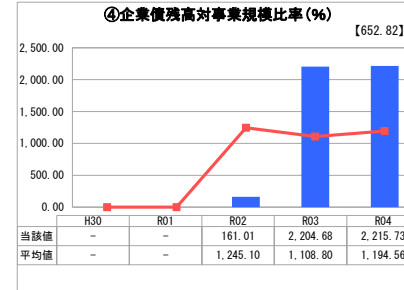
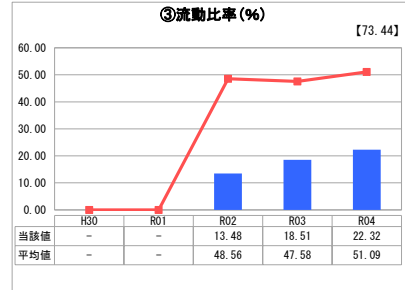
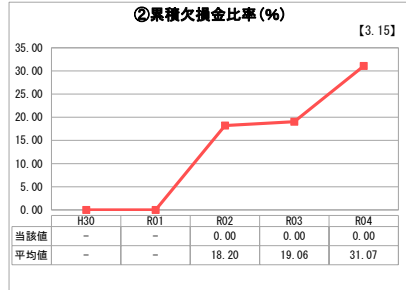
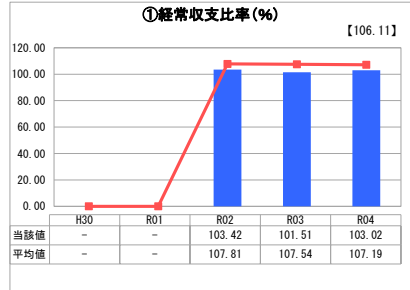
岩手県 平泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	54.63	41.59	92.18	3,456

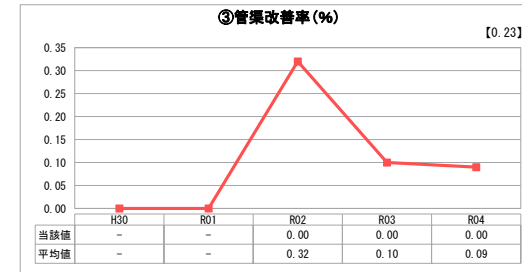
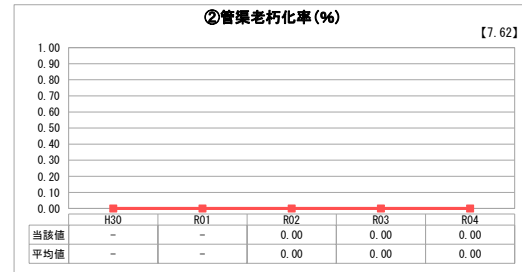
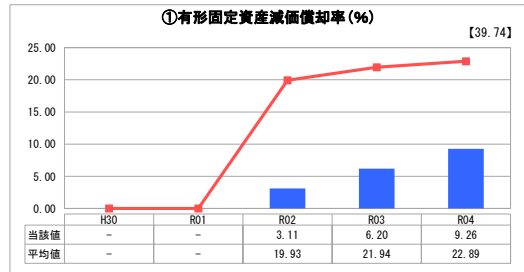
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
7,010	63.39	110.59
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
2,886	1.90	1,518.95

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町の下水道事業は、平成7年度から供用開始をしており、供用開始から27年経過している。
 ① 経常収支比率は100%以上となっているものの、類似団体平均を下回っている。一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況であり、使用料体系の見直しが必要である。
 ② 累積欠損金は発生していない。
 ③ 流動比率は類似団体平均を下回っている。また現金化できる資産が少なく、一般会計からの繰入金で賄っている状況から、より一層、自主財源の確保に努める必要がある。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値を上回っている。管渠整備が概ね完了しており、企業債残高は減少していく見込みである。
 ⑤ 経費回収率は、類似団体平均を上回っているものの、減少傾向にある。経費削減に努めるほか、使用料体系の見直しの検討が必要である。
 ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均を下回っているものの、増加傾向にある。
 ⑧ 水洗化率は増加傾向にあるものの、類似団体の平均を下回っているため、未水洗化世帯への普及啓発活動を行い、水洗化率の向上を図っていく。

2. 老朽化の状況について

① 類似団体平均を下回っているものの、有形固定資産原価償却率は増加傾向にある。
 比較的新しい管渠のため耐用年数の範囲内であり、現状では更新等が必要な管渠はない。

全体総括

黒字決算となっているものの、経常収支比率、経費回収率から判断すると、汚水処理に係る経費を使用料で賄うことができず、一般会計繰入金に頼らざるを得ない状況である。
 人口減少による使用者の減など、使用料収益の大幅な伸びは期待できない状況にあるが、令和2年度から公営企業会計(法)移行したことから、より詳細に経営内容を分析し、経営戦略の見直しや計画のローリングにより、収入の確保、維持管理費の削減、適切な使用料設定等についての検討を行うなど、経営の健全化に向けた取り組みが必要である。
 また、効率的な事業運営に向けて、近隣他団体と広域化・共同化について、引き続き検討していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。